

# 東京都の気候変動対策

## ～ゼロエミッション東京の実現を目指して～




東京都環境局長 和賀井 克夫

# 本日のキーメッセージ



既存建築物に対する意欲的な政策

省エネ技術等への大きな投資を促進



都内新築建築物の省エネ性能の向上

都市のエネルギー効率の向上



「ゼロエミッション東京」の実現へ



## 2030年目標

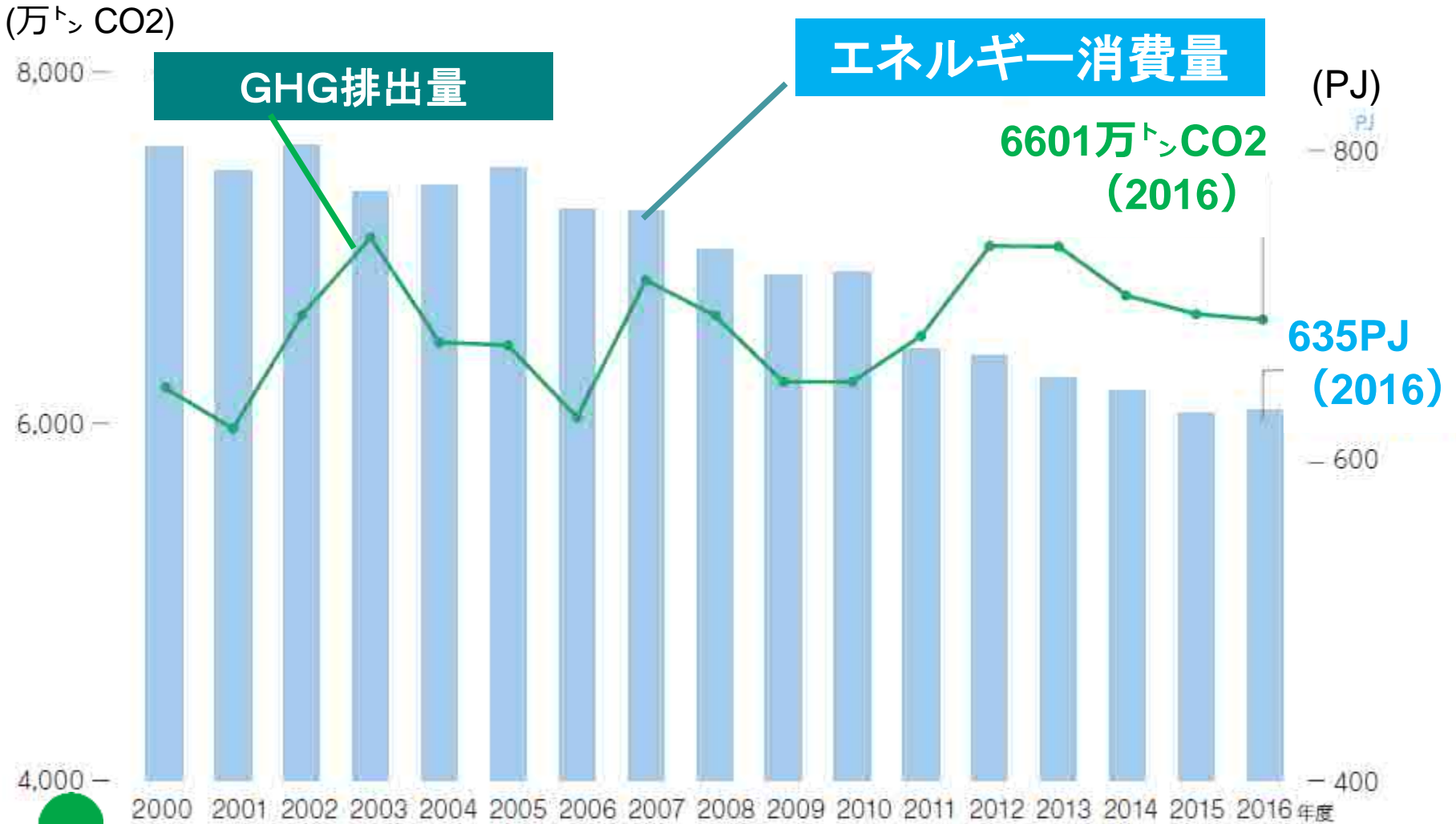


温室効果ガスの削減  
(2000年比)



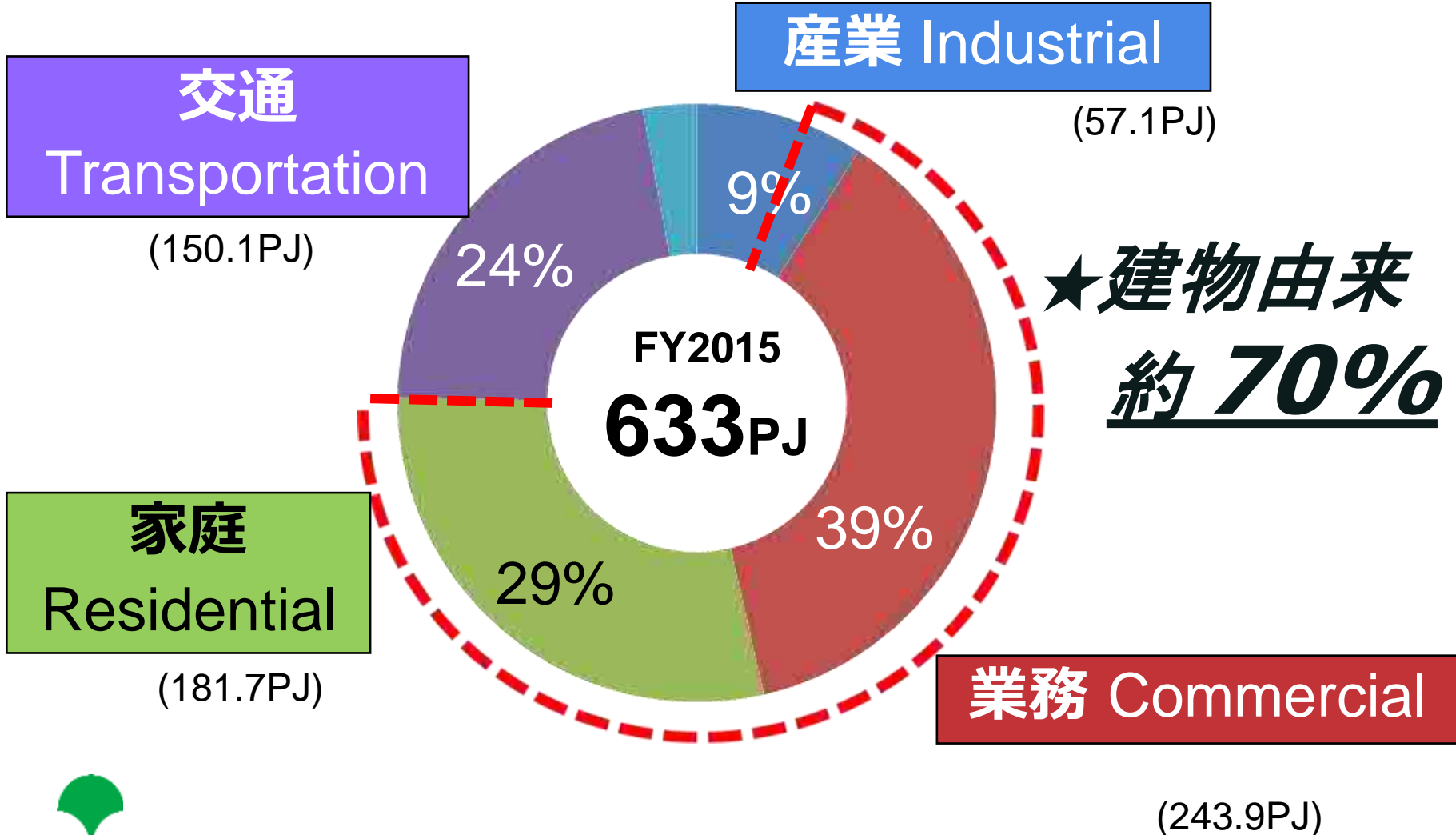
エネルギー消費量の削減  
(2000年比)

# 東京のエネルギー消費量及びGHG排出量(推移)



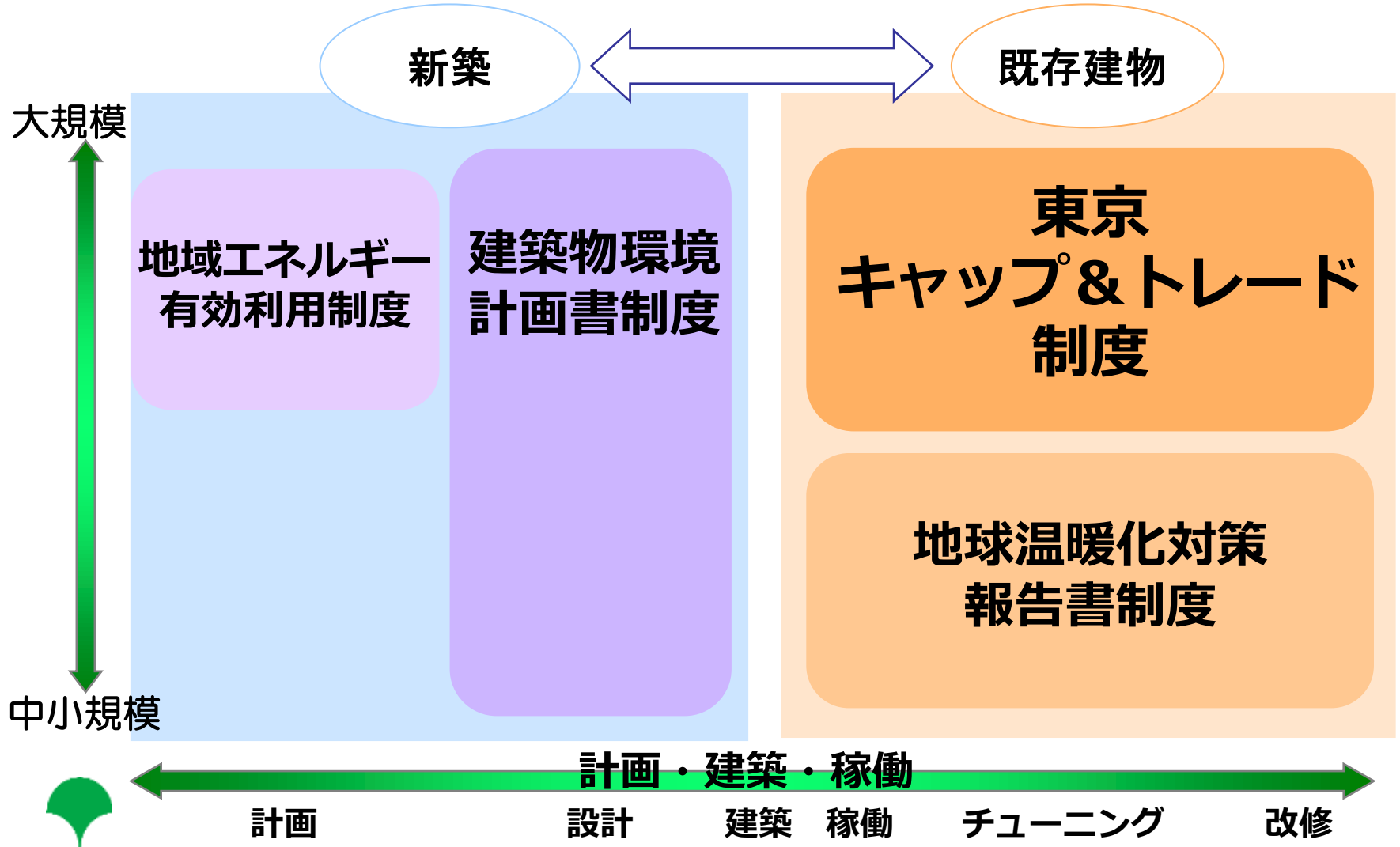
※2016年度データは速報値

# 東京のセクター別エネルギー消費量 (2015)



# 建築物に対する都の気候変動対策(概要)

Tokyo Metropolitan Government



# 東京キャップ&トレード制度(1)

## 制度概要

- **約1200事業所が対象**（エネルギー消費量が1500kl以上(原油換算)）
- **建物単位**（オフィスビル、商業施設、ホテル、病院、工場等）
- **5年間で、一定割合の排出量削減が義務化**
  - \* 第2計画期間（2015-2019）：**平均15%削減**（基準排出量比）

### ✓ CO<sub>2</sub>排出量の**義務的な削減制度**

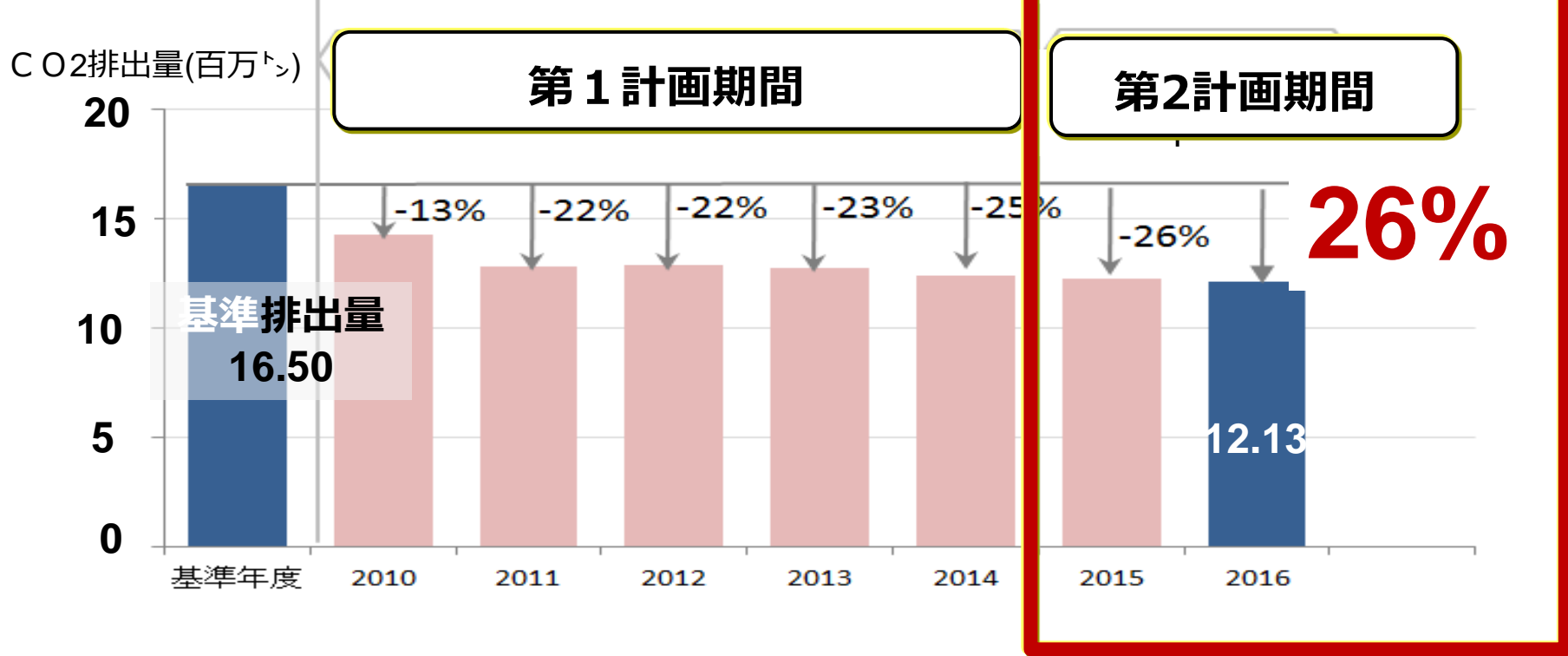
- ・削減義務の履行手段として、「排出量取引」
- ・環境確保条例で規定。2010年4月施行

### ✓ オフィスビル等をも対象とした、

## **世界で初めての都市型キャップ&トレード制度**

# 東京キャップ&トレード制度(2)

## 削減実績



- ✓ 対象事業所（オフィスビル）では床面積当たりのCO<sub>2</sub>排出量が平均30%減少。50%削減している事業所も出現

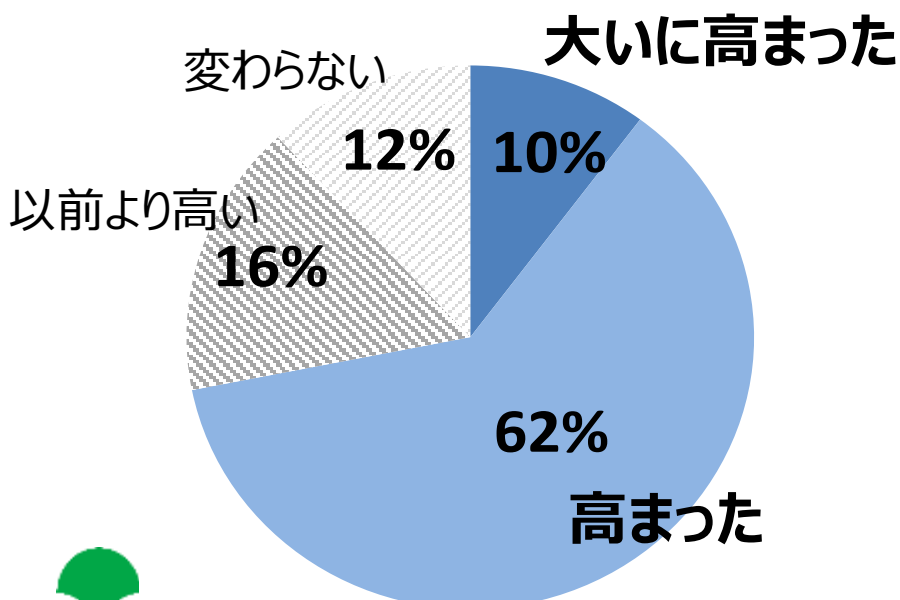




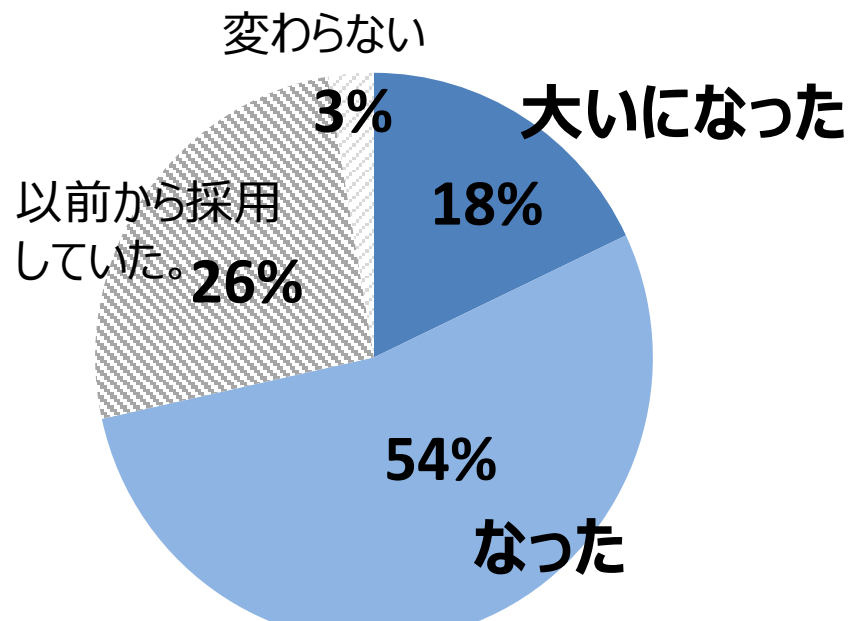
# 東京キャップ&トレード制度(3)

## ●制度導入後、全社的な取組が進展

制度導入後に、  
CO2削減に対する経営層の  
関心が高まりましたか？

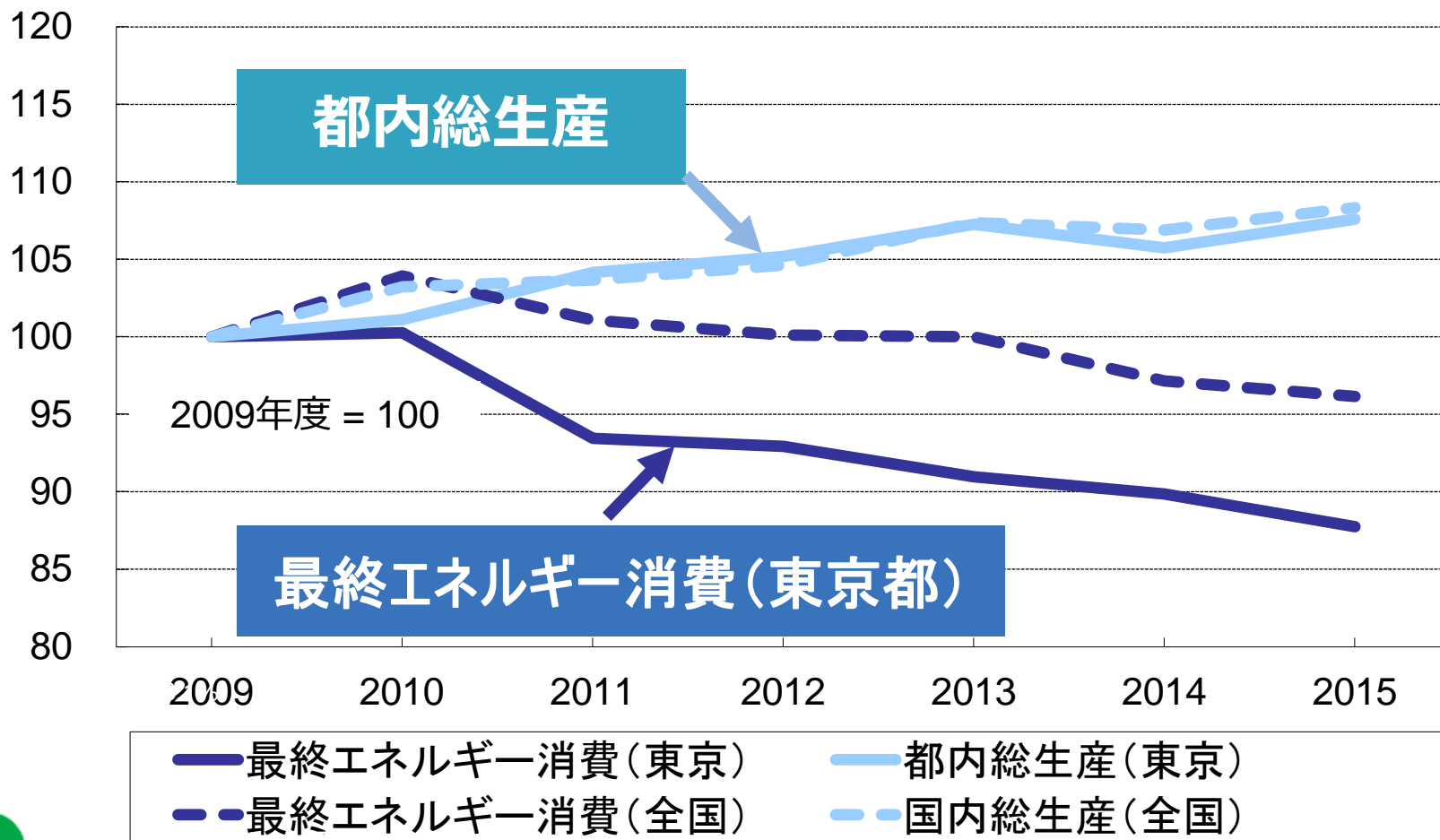


設備更新の際に、  
高効率機器の採用に対して  
積極的になりましたか？



対象事業所へのアンケート調査結果 (2014。東京都環境局実施)

# 東京では、エネルギー消費量と経済成長の “デカップリング”を実現



# 「2030年目標の達成」と 「その先の脱炭素社会の実現」を見据えて

## ■ 「更なる省エネ」と「再エネ利用の拡充」を強化

キャップ&トレード制度

- ・ **第3期の削減義務率：平均27%**（基準年度比）  
→将来的には、「ゼロエミッション事業所」の実現へ
- ・ **ZEB**（ゼロ・エネルギー・ビルディング）
- ・ **ZEV**（ゼロ・エミッション・ヴィークル）
- ・ **ZEI**（ゼロ・エミッション・アイランド）

\* **食品ロス削減**や**プラスチック**の持続可能な利用

# 「2030年目標の達成」と 「その先の脱炭素社会の実現」を見据えて

## ■ 2019年度に開始する事業等（予定）

- 家庭部門への取組
  - ・ **ゼロエミ住宅の普及**（断熱性と省エネ性の更なる向上）
  - ・ **東京ゼロエミポイント**制度
- **ZEV**（ゼロ・エミッション・ヴィークル）の普及拡大
- 都庁舎電力の再エネ100%化の推進【**都庁版RE100**】



# ゼロエミッション東京の実現を目指して



<http://www.kankyo.metro.tokyo.jp>



東京都環境局